

■ 食の輸出拡大と魅力発信拠点の強化・拡大
食の輸出拡大に向けて取組を加速するとともに、どさんこプラザの全国展開や情報発信などの拠点機能の強化に取り組めます。

(政策展開の方向性)
 新たな食の輸出拡大戦略を策定し、品目の拡大や新たな販路の開拓、輸出体制の構築を促進するなど更なる輸出拡大に向けて取り組めます。また、運営者との連携を一層強化しながら、どさんこプラザの全国展開に戦略的に取り組むとともに、国内外における情報発信やマーケティング拠点としての機能強化を図ります。高校生が開発した商品の販売をどさんこプラザなどで支援するとともに、商品開発やブランド化を推進します。

| 区分 | 主な取組 | 備考 (施策Code) |
|------------------|---|----------------|
| 海外市場の開拓 | <ul style="list-style-type: none"> ○道内企業がリスクマネジメントのノウハウを習得することでビジネス展開ができるよう販路開拓リスク対応ノウハウを習得する講座【R6:14社参加】、中国越境ECサイトでの道産品テスト販売及び上海市での道産品販売イベント【R6:20社参加】を実施 ○特定の国・地域に偏らない、国際情勢のリスクに対応した輸出を促進するため、韓国・豪州市場への輸出に関する知識やリスクマネジメント手法を理解・習得する講座【R6:57社/団体参加】、韓国・ソウルでの展示商談会出展【R6:7社参加】、海外バイヤー招へい商談会【R6:30社参加】を実施 ○ASEAN地域等の現地バイヤーとの招へい商談会【R6:商談件数94件】、シンガポールの飲食店シェフ等を対象とした現地試食プレゼン会【R6:商談件数14件】、現地試食商談会【R6:商談件数35件】を実施。また、環境・DX分野において、台湾の展示会出展【R6:6社】と、商談【R6:26社】を実施 ○米国や欧州において、本道へのDX・GXなどの投資呼び込みや食・観光に係るトップセールスを実施【R6.8、R7.1米国プロモーション】【R6.10欧州プロモーション】 | 0205 |
| 道産食品の高付加価値化と販路拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ○道内6地域において販路の多様化に向けた相談会を開催し、事業者の商品開発等を支援【参加数 R5:137社、R6:112社】 ○「北海道どさんこプラザ」国内外21店舗を展開 ○「地域フード塾」の実施【R6:絶品コース 20名 事業化コース 10名 販売戦略コース 17名】 ○包括連携協定を締結している企業等と連携し、商談会の共催や物産展の開催、北海道どさんこプラザ楽天市場店の運営等を行うことにより、道産食品の展示、販売機会を確保 ○道産品の販路拡大に係る各施策を効果・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助を実施 | 0501 |

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「〇～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

| | | |
|---------------------|--|------|
| 道産食品の輸出拡大 | <p>○全5回の研修等を令和6年度に行い、地域の魅力ある商品を生み出し、食関連産業を牽引する人材を育成</p> <p>○タイ、シンガポールのアンテナショップにおいてフェアを開催することにより、道産食品のPR及び販路拡大を促進【R5：計6回、R6：計4回】</p> <p>○全12回の研修や6回の商談会等を令和6年度に行い、道産食品の輸出拡大に向けて道内企業の育成と道産食品の販路拡大を促進</p> <p>○海外商談会を開催し、道産食品のPR及び販路拡大を促進【シンガポール：R6.11・12 タイ：R7.1】</p> <p>○国や関係団体等と構成する「道産食品輸出拡大会議」を2ヶ月に1回程度開催し、関連施策の共有、輸出関連事業者からのヒアリング等を実施</p> <p>◇北海道の食の輸出をさらに成長させ、道内食関連産業の持続的な発展を図るため、「輸出事業に取り組む人材育成」に軸足を置いた、道産食品「輸出塾」を実施</p> | 0502 |
| 農業生産の振興 | <p>○各品目の生産体制の強化に向け、消費者や実需者の多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的、安定的な生産を図るため、基本技術の徹底やICTの活用などによる生産性の向上や省力化、水田のフル活用、適切な輪作体系確立の推進</p> | 0602 |
| 高付加価値農業の推進 | <p>○6次産業化の推進に向け、北海道6次産業化サポートセンターを開設し、各種相談（農林水産物の加工・販売、新商品の開発などに関する相談）に対応【R6 窓口相談対応210件、専門家による現地指導52回実施】</p> <p>○輸出先国の需要等を踏まえたフェアや商談会の実施、SNSによる情報発信、インバウンド向けのイベント開催などPRの強化により、海外の消費者等における道産農産物等への関心を喚起【商談件数82件うち成約6件】</p> <p>○輸出先国のニーズへの対応など輸出産地確立に向けたセミナーを開催し、産地の機運の醸成を図るとともに、民間事業者による輸出先国の基準に対応した施設整備等に対する支援を行い、北海道のブランド力と認知度の向上および、輸出産地としての体制の整備を支援</p> | 0603 |
| 安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進 | <p>○国際水準GAPを実践する農業者の増加に向けて、農業者への指導・普及啓発の実施、農業教育機関等の認証取得への支援により、国際水準GAPの認証への関心を醸成【国際水準GAPの認証農場数 R5：320農場、R6：331農場】</p> | 0606 |
| 道産水産物の高付加価値化と販路拡大 | <p>○令和7年度は、魚食普及推進事業により学校給食への導入促進や新たな加工品開発等に対し計8件の補助を実施予定</p> <p>○資源増大魚種について、道産水産物需要拡大事業により令和5年度～令和7年度に道内全域でマイワシ、ブリフェア（実施済）及びニシンフェア（予定）を開催し、これら魚種の消費喚起を実施</p> <p>○貝毒や放射性物質のモニタリングの継続及びその結果の公表による安全性のPR</p> <p>○輸出証明書の発行による輸出伸長のサポート【R7.10末時点：878件】</p> <p>○水産加工場のHACCP認定取得施設数（対米、対EU）の増加【R7.10末時点累計：130施設】</p> <p>○令和7年11月にシンガポールバイヤーを活員の産地に招へいし、生産現場の視察及び意見交換を行うとともに、シンガポールへの活員の輸送テスト、ニューヨークレストランでの飲食店フェアや商談会、宿泊施設と連携したインバウンドを対象とする道産水産物フェアを開催予定</p> | 0702 |
| キャリア教育の充実 | <p>○高校生が多くの人との交流を図り、北海道の魅力発信の強化を図るため、道立高校が地域との協働で開発した商品をどさんこプラザにおいて販売【R6.12 参加：7校】</p> | 1106 |

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成